

最近の科学技術の動向

ITSを活用した
安全な道路交通の実現に向けて

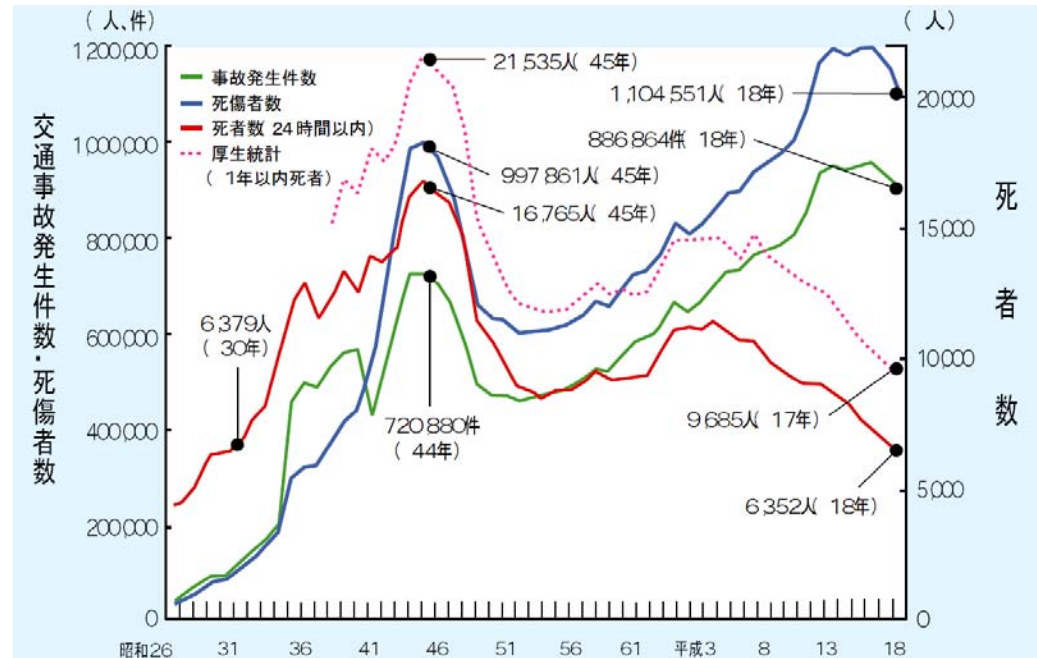
平成19年11月28日

総合科学技術会議

交通事故の現状と分析

現 状

- 平成18年の死者数は昭和30年以来51年ぶりに6千人台前半まで減少
- 一方、**交通事故発生件数は依然として高水準**



交通事故発生件数、死傷者数及び死者数の推移

分 析

【発生形態】

追突及び出会い頭衝突が全体の約6割

【死亡事故】

全死者数のうち歩行中が約3分の1

【事故原因】

前方不注視及び動静不注視が全体の約6割

運転者による他車両、歩行者の**認知遅れ等**が事故を誘発

ITSを活用した交通事故対策

Intelligent Transport Systems

情報通信技術を活用し、人、道路、車両とを一体として構築したシステム

(従来型対策の効果)

シートベルト着用、エアバック搭載、衝撃吸収車体構造の導入 等

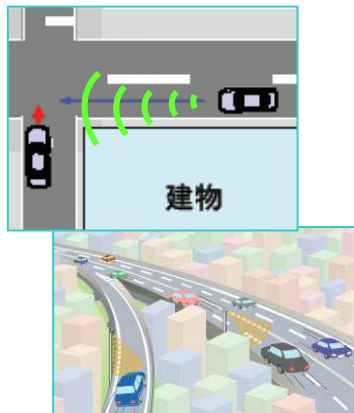
自動車事故による死者数の低減



ITSを活用して事故そのものを未然防止

無線通信の活用

インフラと協調して運転席から
見えない車等の情報を提供



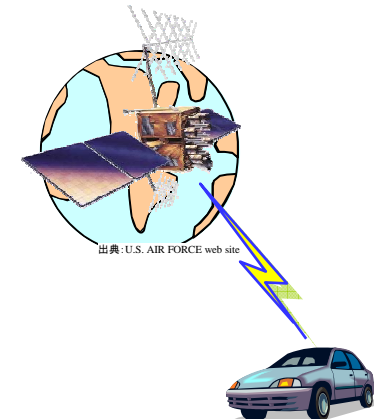
車載センサの活用

(ステレオカメラ等)
他車両や歩行者等を車が検知

将来

GPSの活用等

車や人の位置情報を用いて危険回避



**運転者の操作ミス、認知遅れ、
見落としによる事故を防止**